帰国生徒資格認定用紙

2016年度　4月入学　1学年

●内容は正確に記入し、選択事項には〇をつけてください。
●保護者の勤務先について
日本企業／機関／官公庁の場合は、出願時に本校所定の「海外在留（勤務）証明書」をご提出ください。
海外現地雇用／自営業／会社代表／留学・在外研究の場合は、資格認定の段階で海外在留および勤務を証明する書類の提出が必要です。資格認定用紙受領後、本校よりメールで必要書類についてご案内しますので提出期限（11月30日）までにお送りください。

（1）志願者・保護者　基本情報

志願者	氏名	漢字			
		ローマ字			
	生年月日	年　月　日	性別	男・女	
	国籍1				
	国籍2				
	帰国時期	年　月	日本国籍または特別永住者の資格を有していますか？	☐ はい ☐ いいえ	

保護者	父		国籍		
	母				
	海外勤務者	父・母	勤務先種類	☐ 日本企業　☐ 自営業/会社代表　☐ その他 ☐ 海外現地雇用　☐ 留学/在外研究	
	海外での勤務先名				
	国内での勤務先名				
	帰国（予定）時期	年　月 ☐ 未定	保護者の海外勤務に伴う在留期間が、2009年7月1日から2015年11月30日までの間に継続して1年6ヶ月以上ありますか？（帰国時期は2010年12月1日以降ですか？）	☐ はい ☐ いいえ	

（2）現住所・国内連絡先

国内連絡先住所	〒 様方	☐ 自宅　☐ 会社 ☐親戚宅 ☐ 知人宅
海外連絡先住所	電話番号　国内 海外	
メール		

（3）海外在留歴

●志願者の海外在留歴を国ごとに時系列でご記入ください。

	国名	在留時期	在留期間	年齢		国名	在留時期	在留期間	年齢
1		年　月～ 年　月	年 ヶ月	才～ 才	4		年　月～ 年　月	年 ヶ月	才～ 才
2		年　月～ 年　月	年 ヶ月	才～ 才	5		年　月～ 年　月	年 ヶ月	才～ 才
3		年　月～ 年　月	年 ヶ月	才～ 才	6		年　月～ 年　月	年 ヶ月	才～ 才

（4）海外での学校在籍歴

●小学校1年生、Gr.1、Yr.1以降の海外での在籍校、および国内インターナショナルスクールのみご記入ください。
種別1：JS＝日本人学校　F＝現地校　IS＝インターナショナルスクール　O＝その他
種別2：ES＝小学校　MS＝中学校　HS＝高校
学年：在籍した学校で使用の学年表記を記入してください。（例：Gr. 6 ～ Gr. 8）

	国名	州	都市	在籍した時期	公/私	種別1	種別2	学校名	学年
1				年　月～ 年　月	公立 私立	JS F IS O	ES MS HS		～
2				年　月～ 年　月	公立 私立	JS F IS O	ES MS HS		～
3				年　月～ 年　月	公立 私立	JS F IS O	ES MS HS		～
4				年　月～ 年　月	公立 私立	JS F IS O	ES MS HS		～
5				年　月～ 年　月	公立 私立	JS F IS O	ES MS HS		～
6				年　月～ 年　月	公立 私立	JS F IS O	ES MS HS		～
7				年　月～ 年　月	公立 私立	JS F IS O	ES MS HS		～
8				年　月～ 年　月	公立 私立	JS F IS O	ES MS HS		～

中学校1年生（Grade 7、Year 8）以降、在籍期間が一番長い海外の学校(国内インターナショナルスクールを含む)についてご記入ください。在籍期間が同じ場合は、後に在籍した方をご記入ください。

Q1. 中学校1年生(Grade 7、Year 8）以降、在籍期間が一番長い学校名　（　　）
Q2. インターナショナルスクールの場合、系列は？【　　】
Q3. 在籍していたコースは？【　　】
Q4. 評価方法は？【　　】
Q5. 一番良い評価は？　例：A～FでAが最優　1～5で5が最優【　　】

（5）修了・卒業見込み時期

●9カ年の教育課程の修了時期（見込み時期）をご記入ください。
●日本国内中学校および海外日本人学校は中学3年卒業時期、米国系はGrade 9、英国系はYear 9の修了（見込み）時期をご記入ください。

現地校・インターナショナルスクール Grade 9、Year 9 修了時期	学校名	年　月	☐Grade 9/Year 9 修了 ☐Grade 9/Year 9 修了予定(未修了)
国内中学校・海外日本人学校 卒業見込み時期	学校名	年　月	☐卒業 ☐卒業見込み

（6）連絡事項

●認定情報に付け加えたい事項をご記入ください。

志願者はこれより下に記入しないでください。

中3卒業見込み	Gr. 9　未修了
Gr. 9/Yr. 9修了	

認定者	年　月　日
入力者	年　月　日

ご入力いただいた内容は帰国生徒資格認定および入試以外の目的に使用されることはありません。